

# 環境と人の

JIA  
建築セミナー  
2020

# 新しいつながり

## 実行委員長

小堀哲夫 [小堀哲夫建築設計事務所、法政大学教授]

## 実行委員

白砂孝洋 [白砂建築設計事務所]

菅原大輔 [SUGAWARADAISUKE建築事務所]

勝矢武之 [日建設計]

川島範久 [川島範久建築設計事務所、明治大学専任講師]

谷口景一朗 [スタジオノラ、東京大学特任助教]

馬場兼伸 [B2Architects]

前田道雄 [アーキプロ]

松尾敬一 [久米設計]

間部賢太郎 [三菱地所設計]



## 小堀哲夫 Tetsuo KOBORI

1971 岐阜県生まれ

1997 法政大学大学院工学研究科建設工学専攻修士課程修了

1997 久米設計入所

2008 小堀哲夫建築設計事務所設立

ROKI グローバル・レノベーションセンターでJIA日本建築大賞、

日本建築学会賞(作品)、ほか受賞歴多数

建築は、環境と人をつなぐものです。環境とは自然環境だけでなく、組織、地域社会、地球規模に至るまで、人間を取り巻くあらゆるものを含みます。悠久の時間の中で、人間は土地と深くつながり、建築と都市がつくり上げ、歴史や風土、社会との関係性を築いてきました。

しかし今、新型コロナウイルスを前に人々の生活やこれまでの習慣、社会常識は大きく揺れ動いています。近現代は、効率と経済性を追い求めて都市化が進みましたが、コロナ禍で場所への帰属意識は薄くなり、フィジカルなつながりは希薄になりつつあります。その一方で、ITネットワークの発達は世界の距離を縮め、人は“デジタル”という新たなスペースを獲得しました。

このような不透明で不確定要素の多い時代で、新たな関係性を構築するために必要なこととは何でしょうか。それは、意思を持って場を選ぶことであり、信頼の上に成り立つ“つながり”です。これまでのような会社と家の一方向ではなく、あらゆる方向につながるには自主的な行動力が求められます。自主性とは“遊び”の精神によって生まれるものなのです。我々建築家は創造性を持って、“新しいつながり”を建築として表現していくことが求められています。それには自然、都市、建築、歴史、社会などありとあらゆる視点に立ち、鷹の目と蟻の目の両方を持つこと、自らが異邦人となって常に動き、視点を変えていくことが必要なのです。

今年度の建築セミナーは、過去と現在と未来を通して、「環境と人の新しいつながり」を考えていきたいと思えます。一年を通して他者との対話や視点の変化は、既存の共同体を俯瞰する視点の獲得であり、魅力的な環境をつくる最良の方法となるはずで

## JIA 建築セミナー趣意書

人の生きる環境の形を決める建築家は、常にその社会的責任に対する意識を新たに、技量の継続的向上に努めなければなりません。建築家とは、「なる」ものではなく、むしろ「なり続ける」努力によって成立する職能なのです。

私たち、日本建築家協会の使命の一つは、会員相互の交流と切磋琢磨をつうじて、こうした自己研鑽の機会を広げることにあります。そうした機会は、会員にはもちろんのこと、未だ会員になっていない若い方々に対しても開かれなければなりません。

現在の日本の建築教育はほとんど大学に任されており、また、その期間が限られているためあって、建

築家としての意識と見識を養うためには、甚だ不十分な域にとどまっています。そして、そこに学んだ若者が卒業して一旦社会に出ると、自己研鑽を積み続ける機会に恵まれないのが通例です。

そうした状況に鑑み、私たちは会員及び会を支援して下さる各界の知的リーダーたちの蓄積を、建築家への道を歩み始めた若い方々に受け渡し、建築家に「なり続ける」機会の一つを提供するために「JIA 建築セミナー」を開設しました。

このセミナーは、1978年以降の歴史を誇っております。43年目にあたる2020年度も、長年の間に培われた良き伝統を受け継ぎつつも、時代の状況に応じた新風を織り込んでセミナーが開催されますので、一層のご理解とご鞭撻をお願いいたします。

# JIA建築セミナー2020 | スケジュール | 2020年9月22日 - 2021年3月末日

2020年度は、コロナ禍により開催が遅れましたが、充実したプログラムになりました。開催日程は1か月前に告知します。講座はネット利用が前提となりますが、ソーシャルディスタンスのとれる大ホールを利用し、運営する講座もあります。

## PROJECT 1 これからの建築と建築家の仕事

2020年の開講にあたり、コロナ禍にあつて、見識ある建築家、内藤廣氏に「これからの建築と建築家の仕事について」問います。その答えに期待し、傾聴させていただきます。大ホールでの開催(予定)にしましたので、2の後の開催になります。お気を付け下さい。

**01 開講 | 10月30日[金]18:00-19:30 | 豊洲シビックセンター5階ホール(予定)**  
**講義 | これからの建築と建築家の仕事 | 講師:内藤廣** [建築家、内藤廣建築設計事務所、東京大学名誉教授]

## PROJECT 2 SDGs, 21世紀のランドスケープを考える

早くも21世紀を代表するランドスケープデザイナーとして世界が認める、ニューヨークの高架線路跡ハイラインの造園設計家、ピト・アウドルフ氏のこれまでの生き方とそのナチュラルスティックガーデンのデザインコンセプトを映し出すドキュメンタリー映画を上映します。さらに、一時期イギリスに在住し、アウドルフ氏と交流のある、ガーデンデザイナーの平工詠子氏と吉谷桂子氏がその真髄をそれぞれに語ります。アウドルフ氏の世界をより深く理解するための、意味ある解説講座となっています。

**02 9月22日[火・祝]18:15-21:30 | 豊洲シビックセンター5階ホール(300→150人使用を利用して) | 映画上映 | ザ・ガーデンズ・オブ・ピト・アウドルフ FIVE SEASONS**  
**講義1 | FIVE SEASONSの世界観を追って— 現地の取り組みから日本での実現性 | 平工詠子** [ガーデンデザイナー]  
**講義2 | 20世紀のモダニズムと自然主義から21世紀のアウドルフまで | 吉谷桂子** [ガーデンデザイナー]

**03 見学 | 10月土日で日程調整 | 青山通りほかの「まちニワ」プロジェクト** (吉谷桂子設計) + **シンボルプロムナード公園花の広場** (国際展示場前駅・有明駅前) (平工詠子設計)

**04 10月で日程調整 | がん患者とその家族、友人のための、チャリティーで運営される、がん無料相談所「マギーズセンター21物件の建築と庭」のライドショー**

## PROJECT 3 2030年、活動と建築と人がつなぐもの— ワークショップのバイオニア達

今、自然災害やパンデミックなどによって環境や社会が激変し、都市や建築のあり方が根本から問われています。特に、人と人、建築と人との繋がりが失われていく社会状況において、繋がりのデザインとは何だろうか—。その問いについて、二人の講師から学びます。セサミストリートの制作現場やハーバードやMITメディアラボでの経験を得て、日本でのワークショップの第一人者、同志社女子大学名誉教授の上田信行氏と、国内で初めて劇場の運営と建築の両方からディレクションするコンサルタントを立ち上げた、シアターワークショップの伊東正示氏にお話を伺います。また年末には、CIC虎ノ門(ケンブリッジイノベーションセンター、小堀哲夫建築設計事務所内装設計9月未竣工)の東京虎ノ門、森ビルビジネスタワー内にあるヴェンチャーカフェにて、これからのイノベーションを生むワークスペースのあり方を、CIC創業者であり代表のティム・ロウ氏に伺います。

**05 11月で日程調整 | 講義+対談 | ワークショップのあり方** (仮) | **上田信行** [ネオミュージアム館長] + **小堀哲夫** [建築家、法政大学教授]

**06 11月で日程調整 | 講義+対談 | これからの劇場のあり方** (仮) | **伊東正示** [シアターワークショップ代表取締役] + **小堀哲夫**

**07 12月で日程調整 | 対談 | これからのイノベーションを生むワークスペースのあり方 | ティム・ロウ** [CIC代表] + **小堀哲夫**

## PROJECT 4 未来のワークプレイス

スマートワークプレイスの一種の完成形とも言われるTHE EDGE(Deloitte本社屋/アムステルダム)のデザインを主導したPLP ARCHITECTUREパートナーの相浦氏にロンドンからご登壇いただきます。本セミナーのテーマでもある環境と人間の関係性、環境制御とワークプレイスなどお話をいただきます。また昨今のCovid19の社会的な影響を通じて考える更なるワークプレイスの未来形、ワークプレイスの在り方の変容について伺います。

**08 11月第2週の土日で時間調整 | 講義 | 未来のワークプレイス** (仮) | **相浦みどり** [PLP ARCHITECTURE]

## PROJECT 5 「環境×IT」のこれから

設計段階でのシミュレーション技術を活用した予測から運用段階のコミッションングまで、建築環境とIT技術との結びつきはますます強いものになりつつあります。特にウェアラブル端末を用いて、個人々の好みに応じた快適性を実現する技術の開発は、これまでの建築全体での環境性能の担保とは異なる建築空間と環境との関係性を構築する可能性を秘めています。そこで、そのようなIT技術を駆使してZEB(ネット・ゼロエネルギービル)改修を実現した竹中工務店東関東支店を見学し、先進的な取り組みを紹介していただくとともに、伊勢田元氏より「環境×IT」のこれからの展望を伺います。

**09 12月で日程調整** (COVID-19等の情勢を考慮し、10月上旬に見学会開催可否を判断します) | **見学+講義 | 「環境×IT」のこれから | 伊勢田元** [株式会社竹中工務店 設計本部アドバンストデザイン部門 環境設計コンサルタントG]

## PROJECT 6 リノベーションからデンポラリーへ

馬場正尊氏は、これからの社会に求められる建築の新たなフィールド(リノベーションの次のムーブメント)は「暫定利用/仮設建築」なのではないかという趣旨の、著書「デンポラリー・アーキテクチャー/柔らかい都市のつくりかた」(仮) (学芸出版社)を発刊準備中です。特に公共空間においては、企業や市民を巻き込みながら、まず実験的・工作的なものを作ってしまうプロセスが有効となると思います。修正しながら継続し、その先に常設される建築がつくれるのか、あるいはずっと暫定利用のまま継続し続けるという場合もあると思います。その根拠となるお話を伺います。

リノベーションでは、リデザインとしてマナトレーディングの御所文子氏に生地や壁紙の美しさを伝えて頂き、その生地がどのようにHotelなどで表現されているのかを取材事例をもとに教えて頂きます。また、元酒造工場を延築、弘前れんが倉庫美術館(2020年竣工)に設計した、建築家の田根剛氏より、その延築という設計について伺います。

**10 1月で日程調整 | テンポラリー・アーキテクチャー/柔らかい都市のつくりかた | 馬場正尊** [建築家、Open A、公共R不動産]

**11 2月で日程調整 | 講義 | 人々を魅了するFabricsのデザイン/歴史ある建造物のReデザイン—最新のParis Hotel—Circle of Life | 御所文子** [マナトレーディング株式会社営業推進室室長]

**12 3月で日程調整** (依頼中) | **講義 | 延築、弘前れんが倉庫美術館** (2020年、田根剛設計) | **田根剛** [建築家、ATELIER TSUYOSHI TANE ARCHITECTS]

## PROJECT 7 地域で近現代建築が残され、使われる理由

青森県弘前市内には、明治大正昭和時代の洋風建築群が残ります。同様に前川國男設計による戦前(1932年)の木村研究所から晩年(1983年)の弘前市斎場までの9つもの建築群が残り、現在も使われています。地元建築家集団による「前川建築を守る会」の案内によって前川建築群を見学し、なぜ残り、今も使い続けられるのかの理由を探ります。弘前れんが倉庫美術館ほかも見学し、郊外の星野リゾートに宿泊(予定)、地域の魅力を探ります。

**13 3月土日(1泊2日)で日程調整 | 弘前市内の前川建築及び弘前れんが倉庫美術館等の見学+講義 | なぜ前川建築が残りに、使われるのか | 前川建築を守る会**

# JIA建築セミナー2020 | 募集案内 | 2020年9月22日 - 2021年3月末日開催 CPD申請中

**定員** 40名  
**受講資格** 当セミナーに興味のある方、若手設計者ほか  
**講習期間** 2020年9月22日 - 2021年3月末日  
見学会等の集合場所・時間ほかは、追ってお知らせします。  
**会場** JIA館ほか、ネット利用  
**住所** 東京都渋谷区神宮前2-3-18 | **TEL:** 03-3408-8291  
**交通:** 地下鉄銀座線外苑前駅 徒歩8分/JR千駄ヶ谷駅 徒歩10分/JR原宿駅 徒歩12分  
**受講料** 一括払い: 140,000円(分納、ご相談承ります)  
見学・宿泊等の交通費、食費等は実費となります。

**申込方法** 受講希望者は氏名・住所・連絡先(TEL/FAX/E-mail)を明記し、事務局までFAXか、郵送にてお申込下さい。追って、ご連絡いたします。  
なお、都合により変更になる講座もありますので、予めご承知置き下さい。  
**主催** 公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部  
**企画運営** 公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部 JIA建築セミナー実行委員会  
JIA建築セミナー事務局(担当:佐藤由巳子)  
**申込・問合せ先** 公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部 JIA建築セミナー事務局  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館4階  
**TEL:** 03-3408-8291 | **FAX:** 03-3408-8294